

華ちりめん伊と錦



Timebank

●車の中って結構なプライベート空間です



日頃から車を仕事で使っているわたし。御用聞きにお伺

いしたり、展示会のご案内にお客様をお尋ねしたり、納品でお届けをしたりと日常的に自動車を使用しています。

これをご覧になっていらっしゃるお客様も、車を運転される方が多いと思いますが、運転していると色々な事に遭遇しますよね。逆走してくる車や、追い越し車線からいきなり左折しようとする車、狭い道で譲ってくれない車など、心臓がドキッとしてハラハラしてしまふことなんかもありますよね。

今回のお話は、そんなハラハラドキドキではなくて、私の独断と偏見にはなりません。がちよっと微笑ましいと思ってしまうた、

私がい実際に目撃した車のお話です。

ちよっと想像してほしいのですが、車って前も後ろも横も全部ガラスになっていて、外から見るとほぼ丸見えの状態です。ところが、かくいう私もそうなんです。車に乗って一旦ドアを閉じてしまふと、その空間は自分だけのプライベートなものに早変わり。いや外からは丸見えなんですけどね、実際には。好きな音楽を好きな音量でかけてもいいし、眠くなったら寝てもいいし、

(わたしは仕事は

さぼってないで

すよ) ラジオを

つけてもいいし、

エアコンも効いて

結構快適だし、

ハンズフリーなら電話だってできます。

ある日のこと、信号待ちをしていると、

後ろから同じく信号待ちで減速してきた

車が隣の車線にきておりました。そして丁

度真横に。別に意識した訳でも気になった

訳でもないのですが、ふと隣の車の運転手

を見ると、ちよっとタイミング的にめっちゃ

めっちゃ盛り上がる場面だったのでしよう、



目をつぶりも、の凄く情熱的に、手振りを加

えて熱唱されている様子でした。手の動きが

とても印象的で、ガラス越しにもその情熱が

伝わってくるくらい。ほんの数秒のことです。

その盛り上がりが、そこです！という時に

にパッとドライバーの方と目が合ってしまった

ました(汗)と、同時に凍てつく空気がお互

いの車内に流れます。隣の車からすれば、こ

の上にあげた手をどうすればいいの？こちら

からすると、見てはいけない瞬間を見てしま

ったような感覚。実は僕にも経験があるんで

すが(苦笑)この時って結構恥ずかしいんで

す。微妙な苦笑いで共に会釈して、信号が

変わると同時に、フル加速して相手の方は

去って行ったのでした。それでも熱中でき

る瞬間がある、モチベーションが上がるも

のがあって良いなと思いつつも、思い

出して楽しくなってしまう自分があるので

した。他にも当然何故かはわかりませんが、

一人で運転しながら笑い転げてる女性の方が

いて、その様子を見るだけでも元気が湧い

てきそうだったり、何故かはわかりませ

んが、ボディビルダーのようなガッツ

ポーズを信号待ちで繰り返す年配の男



性がいたり、バックミラー越しに見えた、外は真冬で寒かったり、真夏の暑さで体にこたえそうなのに、その車内はバラ色なの？くらい楽しそうに会話している様子がわかる若いカップル、小さなお子さんと歌を歌っているんだらうなど、ニコニコしている親子など、車の中は人それぞれの物語が詰まっている様子です。それにしても車の中って結構なプライベート空間です。その人らしさが表れるところでもあります。でも実は外からは見えていまして、私も含めて安全運転に努めましょう(笑)

最近うちの長女が自動車免許を取得したんですよ。自分の車を持てるようになったら、娘もこんな自分だけの物語を紡いでいくんだらうなと思いがら、色んな経験を積んで、その時々で夢中になれるもの、モチベーションが上がるもの、いろんなことに興味関心をもって、自分らしさを生かせるようになってもらいたいなと思っているところです。

●お待たせしました。ジュエリー展です！



7月9日より伊と錦店内にて、デザイナーの中野哲哉さんをお迎えして「ジュエリーデザイン 魔法のときめき」を開催します。



ジュエリーというと装飾品になりますよ。指輪だったり、ペンダントだったり。それは身を飾るものになります



ジュエリーデザイナー
中野 哲哉

が、それは何といってもお客様の個性や内に秘める輝きをますます引き立たせるものです。それこそモチベーションがあがるもの、気分があがるもの、お守りのような存在であったり、輝く貴石が美しいハーモニーとなって身を包む感覚であったり、希少性が生む「大切にしたいもの」であったり、「自分らしさの証明」であったり、お客様の考えによってその意味合いはそれぞれあります。

でも、もしこれを持つことで今日という日がとてもいい日になったり、お友達からそれ

とても良いね、羨ましいと言われたり思われたり、自分に自信が持てたりしたら、とても良いなと思いませんか？尚且つ、もしお持ちの貴金属で例えば今ではもうほとんど身に付けていないもの、派手すぎるものや目立ちすぎるものなど、大切にしているけど使っていないものが、新しいデザインとなって生まれ変わり、普段から楽しんで身に着けられるようになるとしたら、とても良くありませんか？

年に一回のジュエリー展になりますが、毎年お客様には嬉しいお声を頂いているんですよ。それは何でだろうと考えてみた時に思うことは、お客様のお持ちのジュエリーをリメイクする場合、その多くは一からデザインしたフルオーダーになり、本当に世界で一つだけのジュエリーになること、お客様からお預かりしたジュエリーは、素材として利用されること。これが一番なのかなと思いますが、「普段気軽に身に着られることなのかなと思います。その希少性ゆえなかなか見ること叶わないピクエをお客様が目キラキラさせてご覧になっているのを見ると本当にそう思います。ジュエリーとは時を経て変わらぬ美しさの象徴だです。ぜひこの機会にどうぞご覧ください。

